

様式第 1（第 15 条関係）

会 議 録

会議の名称	令和 5 年度第 1 回和泉市スポーツ推進審議会	
開催日時	令和 6 年 3 月 13 日（水）午後 2 時から午後 3 時まで	
開催場所	市役所 5 階 5A 会議室	
出席者	委 員	金谷、立石、澤村、坂東、野口、鈴木、竹内、山田 （順不同、敬称略）
	和泉市	事務局：西田室長、山本課長、奥田総括主幹、辻総括主査、 上田主事
会議の議題	・ 議題 （1）スポーツ団体に交付する補助金について ・ 報告 （1）和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画に基づく推進状況について	
会議の要旨	・ スポーツ団体に交付する補助金について意見を伺う。 ・ 和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画の推進状況について報告し、意見を伺う。	
会議録の 作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録	
記録内容の 確認方法	☒ 会議の議長の確認を得ている ☐ 出席した構成員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）	
その他の必要 事項（会議の 公開・非公開、 傍聴人数等）	・ 会議の形式：公開 ・ 傍聴人：可（傍聴人：0 名） ・ 議事録の公表：有	

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

次第 1, 2, 3, 4につき、事務局から、委員及び職員紹介・生涯学習推進室長挨拶、審議会会長挨拶を進行。

5. 議題

（1）スポーツ団体に交付する補助金について

事務局から、スポーツ団体に交付する補助金について説明。

委員）加盟連盟が減ったことで活動補助金が 100,000 円減るはずだが、57,000 円の減額となっている。何が要因か。

事務局）コロナウイルスによって中止されていた大会の開催により、43,000 円の増額があった。差し引きにて 57,000 円の減額となっている。

6. 報告

（1）和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画に基づく進捗状況について

事務局から、和泉市生涯学習・スポーツ推進基本計画のスポーツ部分、および数値目標と直近の数値について報告。

委員）（仮称）北部総合スポーツセンターと市民体育館の立替に伴うアリーナの移転について、設置場所はどこを考えているのか。

事務局）（仮称）北部総合スポーツセンターは、大阪市の野外活動センターの跡地を利用しようと計画を立てている。また、アリーナについては幸団地北部総合福祉会館の跡地への移転を計画している。

委員）I Z U M I スポーツニュースの配布先は体育施設および公共施設にのみ置いているだけか。

事務局）各施設に設置し、小中学校で配布も行っている。

委員）部活動の地域移行化について、具体的な取組内容を教えてほしい。

事務局）今後和泉市が部活動の地域移行化を進めていくうえでの計画を策定するために、策定委員会というものを立ち上げるという動き方を検討している。その会議の結果を踏まえて具体的な取組内容を決定していくものである。

委員）体力測定会について令和 6 年度は実施しないのか。

事務局) 毎年、国から府、府から市町村の段取りで実施依頼があるが、他市町村において毎年開催しているわけではなく数市町村のみである。そのことを踏まえ、隔年開催ということにしていけたらと計画しており、令和 6 年度については 5 年度に開催したので実施しないということで計画している。

委員) 人材データバンクの人数について、多いのか少ないのかということが分からない。また、登録者はどういったことをされているのか。

事務局) 人数については、多い少ないというより前年度から増加できたかという指標の意図で掲載している。登録していただいた方について、プロフィールを市 HP に掲載している。それを市民が見て興味を持ったら市役所に連絡し、市民と登録者の仲介を行っている。

委員) 学校体育施設開放事業について、利用種目はわかるのか。

事務局) 野球やサッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球が行われている。

委員) 広報などの周知や施設の予約方法などでデジタル化は進んでいるのか。

事務局) スポーツ振興担当でいうと、施設の予約についてはオーパスシステムというシステムを導入している。また他課では、保険年金のシステムについては市のアカウントを登録している方に LINE で手続きを行えるようになっている。

委員) 市の広報の SNS にて Facebook を利用していると記載しているが、他の SNS は利用していないのか。

事務局) Facebook 以外では、メールと LINE、Instagram を利用している。

委員) 障がい者の方向けのスポーツ施設が欲しい。

委員) 現在の学校部活動加入率 50% という状況について、理想は何割を目指しているのか。

事務局) 学校部活動の加入については学校教育の分野になってくるので、スポーツの観点からすると、%ではなくクラブに参加したい生徒が参加できる体制づくりを行っていきたい。